

令和3年度

地域福祉学習事業実績報告

町内の各小中学校(5校)を指定し、地域ぐるみで生徒・児童を守り育てようとする取り組みを支援することにより、共に支えあう地域社会づくりを推進することを目的に「地域福祉学習事業」を支援しています。

(この事業は、共同募金の配分を受けて実施しました。)

神戸小学校

目的

幅広い体験や活動を通じて、他を思いやる心を持ち、進んで行動する児童を育成する。

内容

・5年生 総合的な学習
 ・障がいのある方や高齢者の生活の様子や思いを資料、DVDや体験などを通して知り、自分たちができるところを考えることができた。
 ・調べて分かったことや感じたことを資料にまとめて、仲間と交流した。

成果

模擬体験用備品やDVD教材を活用して、障がいのある方や高齢者の方、車椅子の方の疑似体験をした。これらの体験学習を通して、福祉の心を養うことができ、自分たちができることを考え、課題意識をもって活動することができた。



▲車椅子体験

下宮小学校

目的

様々な人とのふれあいや体験的な活動を通して、福祉の心を養い、進んで福祉活動に参加しようとする態度を育てる。

内容

○福祉に関する体験活動、ふれあい活動
 ・「あすチャレースクール」実施
 ・高齢者、障がい者の疑似体験活動
 ・オレンジプラン「認知症」講座
 ・異学年集団活動
 ○課題追及学習
 ・課題に対する調べ学習、まとめ
 ・学習内容の発表
 ○栽培活動
 ・花壇への苗植え、水やり、施肥等の世話

▲車椅子体験



成果

・高齢者や障がい者疑似体験をすることにより、生活する上での課題に気づき、高齢者福祉や障がい者福祉について調べようとする意欲を高めることができた。
 ・課題追及の過程で思いやりの気持ちをもって、相手に接することについて考えたり、自分にできることを考えたりすることができた。
 ・パラアスリートを招いて講話を聞いたり、車椅子バスケットの体験をしたりする学習で、自分を見つめ、夢をもって強く生きていこうとする気持ちをもつことができた。
 ・異学年でのふれあい活動を通して、立場の違う相手(特に自分より年齢の低い相手)のことを思いやる気持ちを高めることができた。
 ・栽培活動を通して、命ある物を大切に育てる気持ちを育てることができた。



▲4年生児童に向けて発表する活動



▲児童委員会を中心に、花壇作りや世話を継続



▲元パラリンピック選手の講話、車椅子バスケの体験

南平野小学校

目的

福祉活動を積極的に推進し、福祉教育の充実を図る。

内容

○心の教育推進活動

- ・年間を通して、植物や生き物の世話をし、生命の大切さについて考えた。
- ・全学年児童が学級農園で大根を栽培し、「だいコンテスト(児童会行事)」を開催することで収穫の喜びを感じた。
- ・三年生児童が学校のハリウオに毎日えさやりの活動を続けた。
- ・三年生児童がハリウオの生態を学習するため、大垣市加賀野池での校外学習を実施した。

○伝統文化・達人の技の学習

- ・地域の達人(クラブ講師)から学ぶ。(文化クラブ・アートクラブ)
- ・バラ栽培の達人から学ぶ。

○児童による「委員会・当番活動」

- ・全校児童が毎日、学級の花壇や農園、バラ花壇の水やりの活動を続けた。

○「感謝の気持ち」を形に表す

- ・芸術鑑賞会、栽培・飼育活動、体験活動等で講師としてお世話になった方々へ児童がお礼の手紙を書いた。

成果

- ・野菜やバラなどの世話を手問ひまかけて行う体験的な活動を通して、自然や生命を尊重する心情や探求心などの素地を養つことができた。
- ・クラブ活動を通して、手話や生け花などを講師を招いて学習することで、福祉活動への理解を深めることができた。



▲芸術鑑賞会



▲だいコンテスト(大根の収穫)



▲学級園の水やり



▲バラの栽培



▲加賀野池でのハリウオ学習

北小学校

目的

- ・高齢者や幼児、障害のある方とのふれあいを中心とした福祉学習を意図的・計画的に工夫し実践することによって、他への思いやる心を育てる。
- ・学校、保護者、地域との連携がより強化され、地域全体で支え合う温かい絆づくりを推進する。

内容

- 異年齢集団による交流
- ・縦割り班によるふれあい活動
- お世話になった方々への感謝活動
- ・ビオラの栽培活動
- ・生ゴミリサイクルによる土作り活動
- 校内花壇、果樹園、畑整備
- 授業(総合的な学習・生活科・クラブ等)での地域の方とのふれあい活動
- ・クラブやおはなしひろば【講師】
- ・野菜や米作り【講師】
- ・音楽療法や和太鼓の演奏活動【講師】

成果

- ・地域との連携により、教育活動のより一層の充実が図られ、北地区全体で支え合う温かい絆づくりが推進できている。
- ・異年齢集団との交流を通して、異なる立場を理解し、他者を思いやる心と上級生としての自覚が育ってきている。
- ・なかよし学級では、音楽療法や和太鼓演奏の活動を通して、リズム感を体全体で覚え表現したり、意欲的に集中して活動に取り組んだりする姿が見られている。



▲感謝の会



▲野菜植え



▲おはなしひろば

神戸中学校

目的

- ・生徒会を中心に、町社会福祉施設との交流を行い、他者を思いやる心を育てる。
- ・地域の清掃、行事への参加、ボランティア活動への参加等を通して、感謝の心、地域の一員としての自覚がもてるようになる。
- ・農作物や植物を育て、それを役立てることを通して、生命を大切にすることを育てる。

内容

- ①もちのき園との交流
- ②居住地交流
- ③農園管理費

成果

- ①特別支援学級の生徒が居住地交流の生徒との間接交流を行うために、サツマイモを植えた。収穫したサツマイモを調理しプレゼントをしたり、蔓を使ってクリスマスリースを作成したりした。長期的に交流ができる工夫を行った。
- ②特別支援級の生徒が講師を招き、ハーバリウムや生活単元で作成したおもちゃを寄付する時にメッセージを書いて渡し、自分たちの思いを伝えることができた。
- ③卒業式に飾る鉢花を「もちのき園」「たんぼ学園」に寄贈した。この交流を継続することで福祉への意識を高めた。



▲クリスマスリースのプレゼント



▲居住地交流